

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 亀戸教室

保護者等数(児童数)33

回収数20

割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20件				十分な広さだと思います。	安全に配慮して家具の配置を行っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18件	1件		1件	しっかり見ていただいているので、適切だと思います。	適切な配置を行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13件	1件		6件		建物の構造上バリアフリー化は難しいが、安全
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20件				面談での相談内容を踏まえて作成していただいています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20件				様々な活動をしていただいています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6件	4件		10件	交流があるかわからない。	機会があれば実施していきたい。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20件				契約のときに説明していただきました。	わかりやすいように説明するように心がけてい
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20件				連絡帳や写真で報告していただいています。	送迎時にもできるだけお話をするようにしている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19件	1件			支援計画見直しのタイミングで面談をしていただいています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5件	3	4	8	同じ小学校の保護者との関わりがあります。特に希望しません。	要望があれば検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17件			3件	いつも迅速に対応していただいているので苦情はありません。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20件					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13件	1件	1件	5件		
14 個人情報に十分注意しているか	18件			2件		十分に気を付けている。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17件			3件		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17件	1件		2件		定期的に避難訓練を実施している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	20件				帰宅後、楽しかったと話してくれます。	
	18 事業所の支援に満足しているか	20件				大変満足しています。いつも子供に寄り添った支援をいただき感謝しています。	

0 3 4 8

0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすくら 亀戸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8件			
	2	職員の配置数は適切である	8件			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		8件		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件	3件		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8件			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8件		HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8件		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8件		定期的を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8件		保護者様の要望を取り入れるようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8件			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8件		職員全員で意見を出し合って決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8件		職員全員で意見を出し合って決めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8件		曜日によって支援方法を変えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8件		手段活動と個別活動、どちらも取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8件		職員間で引き継ぎを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8件		引き継ぎ事項がある場合は共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件		日々の記録を詳細に記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8件		面談の際に行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8件				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8件		児童発達支援管理責任者が対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8件		保護者様を通して情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8件	対象児童がない。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8件		就学のタイミングで、児童に関する情報書類を作成している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8件	該当児童がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8件		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8件		機会があれば実施する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		8件		機会があれば実施する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8件			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		8件		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8件		契約の際に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8件		相談があればその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8件		要望があれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8件		些細なことでも保護者様と話をすることで対応できている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		8件		
	35	個人情報に十分注意している	8件		十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8件			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8件			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8件		職員には周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8件		定期的の実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件		研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		8件	身体拘束についての研修を行っている。	該当する児童がいないため説明を行っていない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8件			保護者様に協力していただき対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8件			ヒヤリハットから気づいたことは支援に生かして